

なんだこれ？（その1）

2006.10.12

本日の進行：

1. 趣旨説明。ふたり一組になる。(10分)
2. 配布された地図をしげしげと眺め、「なんだこれ？」を探す。(10分)  
まずは練習で一ヶ所。  
地図は国土地理院の一万分の一地形図。  
仙台周辺（仙台，青葉山，七北田，長町，福田町，桜ヶ丘）。  
参考として2万5千分の一地形図も利用する。  
  
「なんだこれ？」とは，地図に現れた異様な場所のこと。  
形，寸法，密度，配列等において，他と違ってしている場所など。
3. 各組から「なんだこれ？」を発表。(15分)  
その場所の何が異様だと思うのかを説明する。
4. 地図を交換し，ふたたび違う地図から「なんだこれ？」を探す。(20分)  
少なくとも3ヶ所。
5. 各組から「なんだこれ？」を発表。(35分)  
 $3 \times 6 = 18$ ヶ所の異様スポットがあがる。  
その場所の何が異様だと思うのかを説明する。  
なぜそうなったのかを推測して話しあう。

宿題：

各組で見つけた3ヶ所のうち一ヶ所について，現地調査を行う。  
発表で人気があった＝謎が深いとされた場所を選ぶのが望ましい。

現地調査と文献調査を組み合わせ，レポートを作成する。  
問題地点の地図，航空写真（GoogleMapなどから），現地で撮影した写真，スケッチ，現地の人のヒアリング結果，市史や古地図などの文献の記述などの素材を組み合わせ，その異様スポットの実際を生き生きと報告しつつ，その出現理由を解き明かすこと。また，同様の構造をもった場所が他にもないか探して比較してみると理解が深まる。

レポートはA4用紙タテ遣い，枚数制限なし。

次回10月19日はその発表会「なんだこれ？（その2）」。